

今は幻 圓通山 観音庵

資料提供・文 國枝 浩



取り壊し前の観音庵(手前左手芭蕉の句碑)

保健センターの東を南へ200m行った所に、平成19年まであった観音庵を憶えていらっしゃる方は多いでしょう。

今から300年も前、正徳5年(1715)に、六之井妙勝寺の泰州方丈が、谷汲山へ詣る巡礼に湯茶の接待やら、先祖供養の為に建てられたのですが、平成の初め頃から住職無住になり、雨漏りするやら、祭祀されてきた33体の観音像が破損するに至って、平成19年に廃寺される事になりました。

取り壊しの際、棟札が出てきましたが、それを見ると、本堂は昭和8年大垣市新町の浄円寺が新しく建て替えられるに当たって、その古御堂を買って、移築された事が判りました。観音庵は昭和9年に6世國隆方丈により、開眼法要をされていますが、瓦は新しく葺き替えられた様です。それは、取り壊された鱧瓦の破片に寅年45歳の方が寄進されたところからです。

(氏名は破損)

祀られていた仏像は、妙勝寺に合祀さ

れています。

境内には文政13年に、六之井の俳人たちが芭蕉を偲んで建てた句碑が残って「けふばかり人もとし寄れ初時雨」とあり、なんとも云えない気がしてきますね。



取り壊し中の観音庵



観音庵より出た棟札



現在の浄円寺本堂

協力 郷土史の会